

## 自ら学ぶ子供の育成

6月22日の域内校長研修会において、「『自ら学ぶ子供』を育てるためにどのような指導をしていけばよいのか」について、小中高の校長先生方による熱心な協議が行われました。協議の中では、以下のようなことが話題となりました。

- ・ 子供の意欲を高めること、動機付けが大切
- ・ 「教える」授業から「学ぶ」授業へ、教師の話す量が多い
- ・ 複式学級の学び方、土台づくり、複式のよさ
- ・ 見通しをもたせること（来週の予定も含む）
- ・ 問いをもたせること
- ・ 心を育てる、良好な人間関係、友達との関わり
- ・ 夢・目標をもたせる
- ・ 身近なものとの関わり
- ・ 課題設定の工夫
- ・ 子供が学びたいと思うしかけづくり（教材研究）
- ・ 学びの基礎
- ・ 学ぶ必要感のある内容の充実 等



【域内校長研修会の様子】

「自ら学ぶ子供」を育てるためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりが大切です。8月8日には「学級・授業づくりセミナー」（会場：田島小）を開催します。ここら豊かな子供の育成（一人一人が個性を伸ばし、自己実現できる学級づくり等）を大切にしながら、一人一人が学びを実感できるような指導の在り方について一緒に考えていきましょう。

## こころ豊かな子供の育成

令和4年度道徳教育総合支援事業「ふくしま道徳教育推進プラン」には、大震災を経験した本県だからこそ、子供たちに「命の大切さ」「家族や地域の絆」「思いやり」や「郷土を愛する心」等を育み、多様性を尊重し温かな人間関係を築く「家族や地域社会等との連携を図った道徳教育」の重要性が述べられています。

域内でも、推進プラン事業に基づいて、7月8日に田島第二小学校で道徳の授業研究が行われました。授業では、手品師の話を「自分事」と捉え、「明るく生活するためには何が大切か」を真剣に考える子供の姿が見られました。10月31日開催の「道徳教育地区別推進協議会」では、「自己を見つめる」道徳について協議しますので、ぜひご参加ください。



【田島第二小学校での研究授業の様子】

今後も「ふくしま道徳教育資料集」「新型コロナウイルスに係るいじめ未然防止道徳科教材」等を活用しながら学校教育全体と関連させた道徳教育を推進し、「こころ豊かな子供の育成」に向けた実践の継続をお願いします。

## からだを大切に育てる子供の育成

南会津教育事務所では、本年度「食育・健康教育の充実」を指導の重点としています。6月14日には、御蔵入交流館で開催された福島県学校保健会南会津支部会講習会にお招きいただき、郡内小・中学校の保健主事・養護教諭の先生方に向けて、域内の健康課題を踏まえ、課題解決の1つの手立てとして「自分手帳の活用のポイント」等について話をさせていただきました。

今後も、児童生徒の体力向上や健康マネジメント力の育成に向けた実践の継続をお願いします。

なお、講習会では、全国各地で保健教育に関する研修会の講師をされたり多数の著書を出版されたりしている及川比呂子先生による講演がありました。性の多様性や有効な教材例などについてのお話は、域内の保健指導の充実につながる素晴らしい内容でした。



【及川比呂子先生の講演の様子】

## 特別支援教育の充実

教育的ニーズを整理して「個別的教育支援計画」に反映、日頃から活用を!

今年度は、個別的教育支援計画の活用を重点にあげています。5月末に行われた教育支援協議会でも、学校間の引継ぎが話題になりました。引継ぎで有効活用するには、日々の「うまくいった支援」を具体的に記載するなど、記録を積み重ねていくことが大切です。子供たちの自立と社会参加を見据えて、今の学級集団の中でどのような支援と指導をするべきか、丁寧な実態把握と教育的ニーズの整理が必要になります。

昨年6月に文部科学省から示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」を参考に、**教育的ニーズを下の三つの観点で整理していく校内支援委員会やケース会議の実施をお願いします。**

切れ目のない支援体制整備事業の相談支援でケース会議を行い、一緒に教育的ニーズを整理していくことも可能です。ぜひ相談支援をご活用ください。



【教育支援協議会の様子】

- ①障がいの状態等
- ②特別な指導内容
- ③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容

地域で共に学び 共に生きる教育を推進する  
福島県特別支援教育センター  
〒963-8041 福島県郡山市富田町字上ノ台4-1  
TEL(024)952-6497 FAX(024)952-6599  
相談専用 TEL(024)951-5598  
代表メールアドレス special-center@fcs.ed.jp



特別支援教育センターより、わかりやすくまとめた「コーディネートハンドブック2022追補版」がアップされています。ぜひ、ご活用ください。

## 学校・家庭・地域が一体となって取り組む「人づくり」「地域づくり」〈社会教育〉

今年度も社会教育課では、復興を担うたくましい「人づくり」、協働体制を構築する「地域づくり」をめざし、情報発信に努めて参ります。特に「地域学校協働連携活動」「放課後子ども教室活動」「公民館事業」を中心に訪問し、生き生きとした児童・生徒の姿や、地域の生涯学習の起点となる特色ある公民館の取組を域内に広め、4町村の「横のつながり」に結びつけられればと思います。また各種研修会では「意見交換」の時間を確保し、さまざまな取組や考えに触れる時間を有効に活用することで、「オール南会津」の精神で社会の諸課題に取り組む体制づくりやそのきっかけづくりに貢献できればと思います。各種訪問取材に御理解と御協力をお願いします。



【地域学校協働活動：江川小】



【読書活動推進：只見小】



【地域学校協働活動：館岩中】

- 今後開催予定の研修会等  
どなたでも参加可能です  
お気軽にお申し込みください  
お持ちしております
- ◇ 8月4日(木) ただみ・モノとくらしのミュージアム 読書活動支援者育成南会津地区研修会
  - ◇ 10月1日(土) 下郷ふれあいセンター ビブリオバトル福島県大会会津予選大会
  - ◇ 11月12日(土) 御蔵入交流館 家庭教育支援者南会津地区研修会



【公民館講座：下郷町】

今年度の取組を紹介します

